

教科名	家庭	学年名	第1学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。 ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 					学習の手引き	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で使うもの 教科書・家庭ワーク ○授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、家庭ワークやプリントを使い、理解を深める。

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
	<ul style="list-style-type: none"> ・衣住の生活 <p>① 衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた衣服の選択 ・日常着の手入れと保管 ・生活を豊かにするものの製作 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい服をコーディネートする ・衣服の取扱い絵表示を読み取る <p>② 住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきとここちよさ ・安全な住まいで安心な暮らし <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の願いと居場所を考える ・家族構成でどのような住まい方ができるか考える <p>③ 生活を豊かにするものの製作</p> <p>用具の使い方・縫い方・ミシンのしくみ、ミシンの使い方を知る</p> <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解する。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し適切にできる。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全について考えた住空間の整え方について理解する。 ・家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>○知識・技能 衣服の選択と着用、計画的な活用と手入れについての基礎的な理解と技能、布を用いた製作についての基礎的な理解と技能が身につけている。</p> <p>○思考・判断・表現 家族・家庭や地域における生活の中から衣生活・住生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力を身につけている。</p> <p>○主体的に取り組む態度 衣生活・住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度、衣生活・住生活における日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。</p>

教科名	家庭科	学年名	第2学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。 ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 					学習の手引き	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で使うもの 教科書・家庭ワーク ○授業の進め方 教科書の内容を中心にを行い、家庭ワークとプリントを使い、理解を深める。

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活と自立 ① 健康と食生活 <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割について考える ・生活習慣と食事 ・中学生に必要な栄養 ・食品と栄養素 ② 食品の選択と保存 <ul style="list-style-type: none"> ・食品が食卓にのぼるまで ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・食品の選択・購入と保存 ・食品の安全と情報 ③ 調理をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・調理の計画 ・調理の基本 ・肉の料理・魚の料理・野菜の料理 ④ 地域の食材と食文化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材と郷土料理 ・受け継がれる食文化 ⑤ 持続可能な社会をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・食生活と環境とのかかわり <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理室の使い方 ・肉・魚・野菜を使った調理 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割について理解する。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解する。 ・健康によい食習慣について考える。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解する。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解する。 ・中学生の1日分の献立について考え、工夫する。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について、理解し、適切にできる。 ・食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 ・日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。 	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>○知識・技能 食事の役割と中学生の栄養の特徴、中学生に必要な栄養を満たす食事、日常食の調理と地域の食文化についての基礎的な理解が身についている。</p> <p>○思考・判断・表現 家族・家庭や地域における生活の中から食生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力を身につけている。</p> <p>○主体的に取り組む態度 食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度、食生活における日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。</p>

教科名	家庭科	学年名	第3学年	年間授業時数	17.5時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。 ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 					学習の手引き	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で使うもの 教科書・家庭ワーク ○授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、家庭ワークとプリントを使い理解を深める。

学習内容	ねらい	評価の観点・方法
家族と家庭生活 ① わたしの成長と家族・家族・地域 ・わたしの成長と周囲の人びと ② わたしたちと家族・家庭と地域 ・家庭のはたらき ・家庭の仕事を支える社会 など ③ 幼児の生活と遊び ・わたしの成長をたどる ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の心身の発達と家族の役割 など ④ 幼児とのふれ合い ・ふれ合い体験 ⑤ これからのわたしと家族 ・中学生と家族とのかかわり ・これからのわたしと家族との関係 ⑥ 持続可能な社会をつくる ・世代を超えた人びとと交流して 身近な消費生活と環境 ① 家庭生活と消費 ・消費生活のしくみ ② 商品の選択と購入 ・生活購入のプロセス・生活情報の活用 ・購入方法と支払い方法 ③ よりよい消費生活のために ・契約と消費生活のトラブル ・消費者を支えるしくみ ・消費者の権利と責任を考える ④ 環境に配慮した生活 ・自ら取り組むエコ生活 ・地域や社会での協力 ・持続可能な社会	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家族生活を営む必要があることに気付く。 ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。 ・幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解する。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解する。 ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫する。 ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 ・身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫する。 ・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元の評価の観点、評価の方法 ○知識・技能 家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々と協力・協働や家族関係、家族生活と地域との関わり、幼児の発達と生活、幼児の遊びの意義、幼児や高齢者との関わりについての基礎的な理解が身についている。 金銭の管理と購入、消費者の管理と責任についての基礎的な理解が身についている。 ○思考・判断・表現 家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活や消費生活・環境について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力を身につけている。 ○主体的に取り組む態度 家族生活を工夫し創造しようとする実践的な態度、家族生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度や地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っている。 身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を養っている。